

学科:再発見！何でも見てやろう

11月探訪 晩秋の大津市 近江神宮・三井寺を訪ねて…。

CA 石黒 洋子 山上 田起子 田口 定

25日火曜日 そして、27日木曜日にはそれぞれに第一、第三コースのメンバーと一緒に揃い、紅葉シーズンの近江路を巡りました！！
地元の観光ボランティアガイドさん4名の方とは、京阪石山坂本線・近江神宮前駅で待ち合わせをした後、大津京を建都した天智天皇が、ご祭神の近江神宮を目指して、「さあ、出発進行！！」



大津京跡の説明
近江神宮楼門



本殿に続く表参道は多種多様な木々に囲まれており、この時期は、赤や黄色に色づいた葉っぱ、参道の落ち葉が、晩秋を感じさせます。会話が弾む

中、約20分でシンボルとして、写真によく出る「朱塗の楼門」が迎える近江神宮に到着す。本殿に参拝した後は、ガイドさんの丁寧な案内に耳を傾ける中では、改めて天智天皇についての「学び」、奥深い歴史を、再発見しました。

日本の時刻制度は、天智天皇の御代に、大津に漏刻（水時計）が設置されたことから、境内には時計宝物館が有ることにも感銘を受けた後、時計宝物館を観覧、展示された世界の数々の時計に、「長い歴史、時の流れを感じますねえ…！」の聲が上がります！！

又、近江神宮は、天智天皇が詠んだ歌が、百人一首の第一番に選ばれたご縁により、

「かるたの殿堂」と呼ばれていることで、毎年1月には競技かるた「名人位・クイーン位決定戦」が行われ、新聞、テレビでニュースが流れます。





さあ、近江神宮を後にして、昼食場所に移動です。

秋の紅葉シーズン、多人数、また午後の三井寺参拝をスムーズに運ぶために、事前予約済の三井寺門前のレストランで、皆揃って和気藹々、会話も弾むランチの風景は、いつ見ても和やかで良いですねえ！昼食後は、近江八景の一つに数えられる

「三井の晩鐘」で知られる三井寺を参拝です。

三井寺の釣鐘は、日本三名鐘の一つで音色がキレイなことが余りにも有名！！
 そういえば、確か、過去には師走・大晦日、除夜の鐘にも、テレビ中継が有りましたね



…。広い境内には、国宝の金堂、西国十四番札所の観音堂、三重塔など数多くの歴史的な建造物、文化財が並びます。様々な見どころが満載！！春には、1000本以上の桜が咲き誇る桜の名所としても知られているお寺だけに、ガイドさんの案内に、「春の桜の季節に、ぜひとも花

見に来たいなあ！」の聲があちらこちらから、聞こえます。参道を取り囲む紅葉もキレイですね！帰路、皆さんから「地元ガイドさんつきだと、今まで知らない歴史の説明が聞けて、奥深い学びが有り、良いですねえ！特に、今日は、晩秋の風情を感じて、最高でした！」の聲が、数多く上がった一日となりました！





三井寺・園城寺
火曜班・木曜班

